

.....

館園名 : 伊丹市昆虫館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1990年11月10日

所在地

- ・ 〒664-0015 兵庫県伊丹市昆陽池3-1

公式サイト

- ・ <http://www.itakon.com/>

設立主体

- ・ 財団法人伊丹市公園緑化協会

運営主体

- ・ 財団法人伊丹市公園緑化協会

設立目的

- ・ 昆虫とふれあい親しみながら、生物と環境、また人間生活との関わりについて理解を深め、生命を大切にすることを育む、自然学習の拠点施設として設立。

展示概要

- ・ チョウ温室における亜熱帯植物と蝶15種1000匹の生態展示を中心に、各種昆虫の飼育展示、身近な昆虫拡大ジオラマ展示、世界の昆虫標本の展示、および昆虫関係の映像放映など。

活動概要

- ・ 特別展示、企画展示、展示案内、講座、観察会、学校団体向け事業、友の会事業などを実施。
- ・ 昆虫の博物館、学習資料集、リーフレットなどを出版。

延床面積

- ・ 2,939.61㎡

全職員数

- ・ 26人（アルバイト等含む）

年間運営費

- ・ 75,400千円（人件費、借入金返済分をのぞく）

総資料点数

- ・ 37,253点

その他

- ・

2. ボランティア活動

活動目的・経緯

- ・ 特別展フロアスタッフ : 1999年7月、活動開始。体験型展示を中心にした特別展を開催するにあたり、展示室にて来館者の補助や交流するスタッフの必要性が生じ、導入をはじめた。導入に際しては運営面などの手法についてキッズプラザ大阪から情報を得た。1999年は大学の博物館課程受講生、他館のボランティア経験者から募集し、次年度から伊丹市民に対しての募集をはじめた。ボランティアは年間を通じての組織ではなく、その都度募集という形態を採っている。当初は特別展のみであったが、企画展や観察会の補助などにも活動は広がりはじめている。
- ・ 昆虫折り紙アート講座補助スタッフ : 月1回開催の昆虫折り紙アート講座の開始当時(1991年)から、講師の知り合いなどが手伝いに来はじめたのがきっかけ。受け入れ制度がなかったが、1998年から講座の補助スタッフとして登録をはじめた。

活動人数(男女比、年齢構成)

- ・ 19名(2004年)
- ・ 男性:6名、女性:13名
- ・ 平均年齢 歳:男性 歳、女性 歳(年)

ボランティア担当職員

- ・ 部局: 担当人数:常勤 2名・その他() 名

活動の種類

- ・ ①特別展フロアスタッフ、②昆虫折り紙アート講座補助スタッフ

活動その他

・

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織(NPO等)との連携

- ・ 伊丹市昆虫館友の会会員に対しても、ボランティアの募集を行っている(2つとも)。

活動個別シート ①特別展などでのフロアスタッフ活動

◇活動開始年

- ・ 1999 年

◇活動人数

- ・ 14 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 特別展・企画展フロアスタッフとして、体験型展示の操作説明や、安全確保、展示解説・案内、来館者との交流を行う。

◇活動日

- ・ 展示期間中の開館日。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 活動時に使う名札、エプロンを現物支給
- ・ ボランティア用に机を一つ確保

◇運営 (シフト 等)

- ・ 担当職員がシフトを決定する
- ・ 1日3～5名程度で活動する

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 展示期間の終了際に交流会を実施

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 広報伊丹で募集のほか、経験者に対して個別に連絡する。
- ・ 選考はとくにしない。研修会に参加でき、週1回程度以上活動できることが条件。
- ・ 時期・任期は、特別展・企画展の期間。
- ・ 定年制、任期制なし。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 館内にて1日の研修をおこなう。
- ・ 内容は館について、フロアスタッフについて、当該の展覧会について
- ・ 講師は主に館スタッフ

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 交通費、食費などの支給はなし
- ・ 費用館負担でボランティア保険に加入

◇評価

- ・ 館発行の広報誌に活動者名を記載するなど。

◇課題と展望

- ・ 特別展フロアスタッフとしての活動を足がかりとして、次の段階に進もうとしている。フロアスタッフ多数回経験者によるボランティアイベントへの参加、観察会の補助スタッフなど。
- ・ さまざまな事業に展開していける可能性があり、期待している。

◇その他

活動個別シート ②昆虫折り紙アート講座補助スタッフ

◇活動開始年

- ・ 1998年

◇活動人数

- ・ 5名（2004年）

◇活動内容

- ・ 昆虫折り紙アート講座の補助スタッフとして、講座時の職員や参加者への補助活動。
- ・ 講座内容の検討など。

◇活動日

- ・ 毎月第2日曜。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 名札を現物支給。

◇運営（シフト 等）

- ・ なし。当日来られる人が来る。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 基本的に各講座時と終了後のミーティングのみ。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 広報や募集は特にしていない。講座に関心を持った人の申し出などにより受け入れ。
- ・ 選考や制限はないが、ある程度折り紙ができることが必要。
- ・ 定年、任期なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 特になし。
- ・ 講座後のミーティングで次回の練習などをおこなう。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ なし。

◇評価

- ・ 特になし。

◇課題と展望

- ・ 特別展スタッフと2種の体制があるので何らかの形で融合できればと考えているが、経緯も内容も全く異なっている。
- ・ 講座参加者への満足度への貢献およびボランティアの満足度共に高い。

◇その他

- ・ 講座の成果を基にした冊子の製作や企画展（2000年度）では、企画や製作に大いにかかわった。

.....

館園名 : 伊丹市立博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1972年07月22日

所在地

- ・ 〒664-0858 兵庫県伊丹市千僧一丁目1番地の1

公式サイト

- ・ <http://www.city.itmi.hyogo.jp/>
(伊丹市公式HP)

設立主体

- ・ 伊丹市

運営主体

- ・ 伊丹市

設立目的

- ・ 伊丹市域の自然と歴史に関する資料の調査・収集・保存と公開。

展示概要

- ・ 伊丹市域の歴史を概観する常設展に加えて、市域及びその周辺の歴史と民俗に関する内容の企画展・テーマ展を開催している。

活動概要

- ・ 伊丹市域に関する資料を収集・保存するとともにそれらを調査研究し、その成果を提示・講座として市民に公開する。

延床面積

- ・ 1,857 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 5名（2005年01月現在）

年間運営費

- ・ 約72,252,000円（2003年度）

総資料点数

- ・ 約38,000点（2005年01月現在）

施設その他

- ・

2. ボランティア活動 名称： 伊丹市立博物館友の会

活動目的・経緯

- ・ 伊丹市立博物館の歴史講座受講者のうち郷土の歴史に興味を持つ有志を中心に発足。博物館におけるボランティア活動をベースに会員の調査研究成果を市民に紹介することを目的とする。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 43名（ 2005年01月現在）
- ・ 男性：34名、女性：9名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳 不明

ボランティア担当職員（ 2005年 01月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①展示・講座等博物館事業の支援・協力。
- ・ ②史跡散策等の市民向け事業の開催。
- ・ ③寺院・石造品等市内の史跡調査の実施とその成果を公開。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

- ・ 『伊丹の寺院』
- ・ 『伊丹のお地蔵さん』 伊丹市立博物館友の会編（友の会の調査事業）

関連するHP

- ・ <http://>
伊丹市立博物館 HP と同じ

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：①伊丹市立博物館友の会

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1995 年

◇活動人数

- ・ 45 名（ 2005 年 01 月現在）（※編集者注：人数が合わない）

◇活動内容

- ・ 別紙「活動の種類」の欄のとおり。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 特になし。博物館の空きスペースを作業場所として提供はするが専門の部屋はない。

◇運営（シフト 等）

- ・ 活動内容ごとに参加者を調整。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 月 1 回の例会で情報交換と調節を行なう。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 年に一度、市民対象の歴史講座を開催し、その修了者の中から希望者は友の会に入会する。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 会の事業内容に応じ、不定期に行なう。

講師は主として博物館職員、内容により外部講師に依頼することもあり。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入している。費用はすべて自己負担。

特典として博物館刊行物を割引販売している。

◇評価

- ・ ボランティア活動に対し、H12 に館より感謝状、H15 に市より表彰された。

◇課題と展望

- ・ やや高齢化しつつあるので、若年層の会員を増やし活動のはばを広げていきたい。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 伊丹市立美術館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1987年11月03日

所在地

・〒644-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前 2-5-20

公式サイト

・<http://www.artmuseum-itami.jp>

設立主体

・伊丹市教育委員会

運営主体

・財団法人 伊丹市文化振興財団

設立目的

・市民の美術に関する知識および教養の向上ならびに芸術の振興を図るため。

展示概要

・本館の収集の基本理念が「諷刺とユーモア」を標榜していることもあり、所蔵品展は本館の所蔵品の柱である19世紀フランス美術を代表する作家のひとりであるオノレ・ドーミエを中心とし、その周辺の諷刺画家たちの作品を展示。企画展においても「諷刺とユーモア」と関連した展示。

活動概要

・年6回程度の企画展及び年3回程度の所蔵品展の開催。（図録、館報の発行）
夏休みを利用した小学生対象のワークショップ「子どもと造形」、中学生と美術家とのコラボレーションからなるワークショップと「いのちを考える」展の開催。その他講座事業や講演会の実施。

延床面積

・2,414 m²

全職員数（常勤職員）

・3名（2004年12月現在）

年間運営費

・81,574,000円（2003年度）

総資料点数

・約6,000点（2004年12月現在）

施設その他

・施設が手狭なので、充実を図って欲しいと熱望している。
・指定管理者制度の導入が検討されており、現場サイドとしては当惑している。

2. ボランティア活動 名称：

活動目的・経緯

- ・現在、正式には受け入れておりません。
- ・但し、試行段階（非公式に）として1名のボランティアの方を受け入れております。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 1名（2004年12月現在）
- ・ 男性：1名、女性： 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳 （60代）

ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：なし
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・新聞のスクラップ。
- ・寄贈及び購入図書の受け入れから配架作業。
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・

関連する出版物

- ・なし

関連するHP

- ・http://

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・なし。

活動個別シート 活動名：①新聞のスクラップ・図書整理等

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 1 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 新聞のスクラップ。
- ・ 寄贈及び購入図書の受け入れから配架作業。

◇活動日

- ・ 火曜、木曜。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 専属の室はありません。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 来年度より、美術館サポーターという名称で 2 名程度応募する予定。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 特に設けていません。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 一切支給しておりません。

◇評価

- ・ 大変助かっております。

◇課題と展望

- ・ 受け入れ機能の確保。館職員の補充等課題は山積。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 小野市立好古館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1990年11月03日

所在地

- ・ 〒675-1375 兵庫県小野市西本町477

公式サイト

- ・ <http://www.city.ono.hyogo.jp/~kokokan/>

設立主体

- ・ 小野市

運営主体

- ・ 小野市教育委員会

設立目的

- ・ 市民の郷土への歴史への理解を深め、市民文化の発展に寄与することを目的とする。

展示概要

- ・ 「小野の歴史」：小野の歴史や民俗を概観。
- ・ 「ゆたかな風土」：ゆたかな自然とそこに息づく伝統産業、郷土が生んだ先覚者を紹介。
- ・ 昔のおもちゃで遊んだり、十二単や甲冑を着ることのできる実体験コーナー、ビデオ学習コーナーがある。

活動概要

- ・ 特別展、講演会、講習会を開催。

延床面積

- ・ 1,465 m²

全職員数

- ・ 9名

年間運営費

- ・ 39,000千円（2003年度）

総資料点数

- ・ 15,000点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：好古館着付ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 十二単等の着付体験事業は、開館以来行っていたが、職員の業務量の増加に伴い、着付行事も減少傾向となった。そこで、着付体験事業の活性化を図るため、着付ボランティアを導入した。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 35名（ 年）
- ・ 男性：0名、女性：35名（ 年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性40歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局： 担当人数：常勤2名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①実体験コーナーでの着付け。

活動その他

- ・ 館により運営。
- ・ 年に1度総会を兼ねた気付けの練習日を設ける。
- ・ 気付けやファッションに関する施設等を見学する研修会を数年に1度開催する。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①実体験コーナーでの着付け

◇活動開始年

- ・ 1995 年

◇活動人数

- ・ 35 名 (年)

◇活動内容

- ・ 甲冑 (親子)、十二単 (一般、親子)、束帯の着付け。

◇活動日

- ・ 1 月、3 月、5 月に活動。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 館により運営。
- ・ 活動可能日をあらかじめ調整し、1 日 6 名で着付を行う。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 年に 1 度、総会を行う。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 10 月～12 月に募集。
- ・ 応募者は、全員登録。
- ・ 任期なし。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 年に 1 度、総会を兼ねた着付の練習日を設ける。
- ・ 着付やファッションに関する施設等を見学する研修旅行 (日帰り) を、数年に一度開催する。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入 (費用は館が負担)。
- ・ 入館無料の特典あり。
- ・ 交通費として、1 日 1,000 円を支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 新規参加者が少ないため、新しい展開が出来ない。
- ・ 参加者全員が主婦のため、活動に制限がある。

◇その他

- ・ 最近では、歴史教育の一環として学校への出張なども行っている。

.....

館園名 : 神戸市埋蔵文化財センター

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1991年09月12日

所在地

・〒651-2273 兵庫県神戸市西区糀台6丁目1番地 西神中央公園内

公式サイト

・<http://> なし（準備中）

設立主体

・神戸市教育委員会

運営主体

・神戸市教育委員会文化財課

設立目的

・神戸市内において、発掘調査等で出土した考古学的資料の保存及び活用をはかり、神戸の歴史に対する理解を深め、市民生活の向上に資することを目的として設置した。

展示概要

・「常設展示室」（486 m²）『よみがえる神戸の歴史展』と題して、神戸市内の各遺跡から出土した約 600 点の遺物を展示し、旧石器時代～鎌倉時代までの神戸の歴史を通史的に見学することが出来る。

・「収蔵展示室」（987 m²）1階の一般収蔵庫の周囲に、回廊部（280 m²）を設けて、ガラス越しに復元の完了した土器（約 3,000 点）の展示とともに、コンテナの収蔵状況も見学できるように工夫した。

・「特別収蔵庫」（125 m²）小窓を設置し、保存科学処理の完了した木製品の展示を行い、収蔵状況とともに見学できるようにしている。

・「企画展示室」（187 m²）では、年三回（春・夏・秋）の企画展示をはじめ、速報展示や埋蔵文化財を題材とした作品展などを開催している。エントランスホール（311 m²）においても随時、速報展示や埋蔵文化財を題材とした作品展などを開催している。（今年度は、速報展示 1 回・作品展 1 回を開催）

・埋蔵文化財センターの玄関前に、神戸市垂水区高塚山で発見された高塚山 1 号墳の横穴式石室を移築・復元しており、アルミ枠を用いたガラスの覆いをかけて、内部が見学できるように整備している。

活動概要

・常設展示及び年 3 回の企画展示、速報展示・埋蔵文化財を題材とした作品展（神戸市民の作品等）

・考古学講座の開催。（年 12 回：親子で体験考古学講座 6 回・親子で『赤米作りに挑戦しよう』 3 回・体験考古学講座 3 回：別紙参照）

・出張体験考古学講座の開催。小学校や公民館などにおいて、「土器作り」・「勾玉作り」等を行う。

・出張展示の開催。市内の小学校をはじめ、公民館・図書館やそのほかのギャラリー等において、出土遺物や写真パネルなどを展示している。

・地域まつりへの参加。古代人の生活の一部を体験できるような催しとして「大歳山まつり」(年1回)を開催している。また、「みどりと太陽のまつり」(年1回:神戸まつりの西区の行事)に参加している。

延床面積

・7,043.670 m² (建築面積 2,801.671 m²。)

全職員数 (常勤職員)

・6名 (2005年1月現在)

年間運営費

・47,930,000円 (2003年度)

総資料点数

・約45,000箱分 点 (28リットルコンテナ換算) (2005年1月現在)

施設その他

・現在のところ、増加移築・リニューアルの予定はない。

2. ボランティア活動 名称：普及・啓発事業における考古学講座などの開催に伴うボランティア活動

活動目的・経緯

・開館当初より平成 14 年度までは、施設の管理・運營業務については、財団法人神戸市スポーツ公社（平成 10 年 10 月より財団法人神戸市体育協会に統合された。）が、実施していた。平成 15 年度より、埋蔵文化財センターに関わるすべての事業を一元化し、より円滑に運営していくため、神戸市教育委員会文化財課の直営になった。

・これに伴い、事務分掌を見直し、以前は、普及・啓発事業の中で、埋蔵文化財調査係において主として担当していた出張体験考古学講座・出張体験考古学講座や大歳山まつりなども埋蔵文化財センターの担当となった。

・これらの業務のうち、出張体験考古学講座（公民館への出張講座、ただし学校を除く）と大歳山まつりなどの地域まつりへの参加に際して、平成 15 年度より大学生のボランティアを活用することとなった。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 15 名（2005 年 1 月現在）
- ・ 男性：13 名、女性：2 名
- ・ 平均年齢 21 歳：男性 21.5 歳、女性 20 歳

ボランティア担当職員（2005 年 1 月現在）

- ・ 部局名称：埋蔵文化財センター
- ・ 担当人数：常勤職員 4 名・その他（アルバイト）2 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①考古学講座・出張体験考古学講座（公民館等）開催に伴う作業の補助。
- ・ ②地域まつりへの参加における作業の補助。
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・現在のところ、埋蔵文化財センターが、大学の考古学研究室等を通して、募集している。
・ボランティアのメンバーが主体的に活動するのではなく、飽くまでも、センター事業の補助的な役割を担っている。

関連する出版物

- ・なし。

関連するHP

- ・なし。

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・現在のところ、連携していない。

活動個別シート 活動名：①考古学講座・出張体験考古学講座（公民館等）開催に伴う作業の補助。

◇活動開始年（西暦）

- ・2003年

◇活動人数

- ・ 名（2005年1月現在） ※のべ参加人数41名

◇活動内容

- ・センターで開催される考古学講座（2003年度は12回実施）の受付・作業補助。
- ・公民館のサマースクールなどの館外で開催される考古学講座（出張体験考古学講座：2003年度は3回実施。ただし、学校を除く。）の受付・作業の補助。

◇活動日

- ・講座開始日のみ：2003年度・9回。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・特になし。

◇運営（シフト 等）

- ・事前に、講座開催日の日程・必要人数等を連絡して、ボランティア側で、活動するメンバーの調整をしてもらっている。

◇交流（情報、組織 等）

- ・特に実施していない。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・募集に関しては、基本的に、大学側に一任している。（2003年度は大手前大学人文科学部考古学研究室に依頼した。）

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・現在のところ、特に実施していない。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・全員ボランティア保険に加入している。（費用は埋蔵文化財センターが負担）。
- ・交通費のみ実費で支給。

◇評価

- ・現在のところ、特に実施していない。

◇課題と展望

- ・活動内容が、ボランティアの主体的なものではなく、飽くまでも、センター事業の補助的な役割に過ぎない。
- ・活動メンバーが流動的であるため、1年間を通して、一貫した活動が出来にくい。
- ・活動メンバーがすべて学生のため、日程によっては、必要な人数が確保できないことがある。

◇その他

- ・特になし。

活動個別シート 活動名：②地域まつりへの参加における作業の補助。

◇活動開始年（西暦）

- ・2003年

◇活動人数

- ・名（2005年1月現在）のべ参加人数11名

◇活動内容

- ・地域まつりで開催される各種イベントの受付・作業の補助。

◇活動日

- ・地域まつり開催日のみ：2003年度・2回。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・特になし。

◇運営（シフト 等）

- ・事前に、まつり開催日の日程・必要人数等を連絡して、ボランティア側で、活動するメンバーの調整をしてもらっている。

◇交流（情報、組織 等）

- ・特に実施していない。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・募集に関しては、基本的に、大学側に一任している。（2003年度は大手前大学人文科学部考古学研究室及び神戸流通科学大学情報学部、京都橘女子大学博物館実習参加者に依頼した。）

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・現在のところ、特に実施していない。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・全員ボランティア保険に加入している。（費用は埋蔵文化財センターが負担）。
- ・交通費のみ実費で支給。

◇評価

- ・現在のところ、特に実施していない。

◇課題と展望

- ・活動内容が、ボランティアの主體的なものではなく、飽くまでも、センター事業の補助的な役割に過ぎない。
- ・活動メンバーが流動的であるため、1年間を通して、一貫した活動が出来にくい。
- ・活動メンバーがすべて学生のため、日程によっては、必要な人数が確保できないことがある。

◇その他

- ・特になし。

.....

館園名 : 神戸市立須磨海浜水族園

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1987年07月16日

所在地

- ・ 〒654-0049 兵庫県神戸市須磨区若宮町1-3-5

公式サイト

- ・ <http://www.keva.or.jp/aquarium/>

設立主体

- ・ 神戸市

運営主体

- ・ (財)神戸国際観光コンベンション協会

設立目的

- ・ 市民のレクリエーションと教養に資するため。

展示概要

- ・ 「水族はどのように生きているか」をメインテーマとして、水族の「生きざま展示」に努めている。
- ・ 展示水族約500種20,000点。

活動概要

- ・ 特別展、サタデースクール、夏の科学教室のほか、ボランティアによる水族園裏側探検ツアーなどを実施。
- ・ 機関紙「うみと水族」を発行。

延床面積

- ・ 15,448㎡

全職員数

- ・ 約70名(季節変動等あり)

年間運営費

- ・ 約1,000,000千円

総資料点数

- ・ 飼育展示種14,000点 標本資料50,000点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：須磨海浜水族園ボランティア（SAPV）

活動目的・経緯

- ・ 1997年7月、活動開始。展示解説（バックヤードツアー）を主な活動とする。
- ・ 2003年に、活動内容にグループ分けを行う。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 89名（2003年）
- ・ 男性：39名、女性：50名（2003年）
- ・ 平均年齢43歳：男性51歳、女性35歳（2003年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：学芸展示部 担当人数：常勤3名・その他（嘱託職員）1名

活動の種類

- ・ ①ミニ探検ツアー、②タッチプール生物解説、③学芸補助、④企画イベント、⑤総務

活動その他

- ・ 土日祝日、および火曜日。
- ・ 活動運営、コーディネートは、ボランティア組織が行う。
- ・ 情報紙「しおかぜ」。
- ・ 打合せ会を、毎月全員で実施。
- ・ 募集、登録事務は、園が行う。
- ・ ボランティア相互でも、研修を実施（ボランティアに研修係を置いている）。
- ・ 恵まれない条件下でも、活動の幅を広げるなど、取り組みは意欲的である。
- ・ 職員の意識のズレが大きい。ボランティアの意義や役割に対する理解が重要である。
- ・ 交通費その他を支給するか否か検討する必要がある。

関連する出版物

- ・ 「しおかぜ」（季刊） 「ボランティアの自主出版物」（不定期）

関連するHP

- ・ SAPV公式ホームページ

館外組織（NPO等）との連携

- ・ 2004年6月、Jfishと共催で、須磨クラゲまつりを開催。
- ・ 2004年10月、文部科学省より、「こどもの居場所づくり」推進事業、「地域こども教室」を受託。

活動個別シート ①ミニ探検ツアー

◇活動開始年

- ・ 1997 年

◇活動人数

- ・ 29 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 水族園の裏方ガイドツアー。

◇活動日

- ・ 火、土、日曜日。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア室 (実験室と共用) あり。

◇運営 (シフト 等)

- ・ グループ内の連絡網で調整。1 回 2 名以上。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 連絡 (記録) ノートを作成。ML を主とした連絡網あり。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 毎年 4 月に、HP、新聞等で募集し、所定の研修を経て登録。
- ・ 定年制なし。年度ごとに登録を更新。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 新規登録者は養成研修 (共通講座 3 回以上、グループ研修 3 回以上) を受講。
- ・ 登録者は、スキルアップ研修を、1 回以上受講。講師は職員が中心。外部講師もあり。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入している。

◇評価

- ・ 活動実績に応じて、入園券を交付。

◇課題と展望

- ・ シフト調整、連絡体制の維持が課題。

◇その他

- ・

活動個別シート ②タッチプール生物解説

◇活動開始年

- ・ 1998 年

◇活動人数

- ・ 24 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ タッチプール生物を解説する。
- ・ 紙芝居や水槽生物のガイドを不定期に行う。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室（実験室と共用）あり。

◇運営（シフト 等）

- ・ グループ内の連絡網で調整。1 回 2 名以上。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 連絡（記録）ノートを作成。MLを主とした連絡網あり。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年 4 月に、HP、新聞等で募集し、所定の研修を経て登録。
- ・ 定年制なし。年度ごとに登録を更新。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 新規登録者は養成研修（共通講座 3 回以上、グループ研修 3 回以上）を受講。
- ・ 登録者は、スキルアップ研修を、1 回以上受講。講師は職員が中心。外部講師もあり。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入している。

◇評価

- ・ 活動実績に応じて、入園券を交付。

◇課題と展望

- ・ 活動内容が広まった分、形態が多様化し、グループのまとまりが希薄になっている。

◇その他

- ・

活動個別シート ③学芸補助

◇活動開始年

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 20 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 海岸生物を中心とした観察、調査、記録（撮影）など。

◇活動日

- ・ 土、日曜日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室（実験室と共用）あり。

◇運営（シフト 等）

- ・ グループ内の連絡網で調整。1 回 2 名以上。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 連絡（記録）ノートを作成。ML を主とした連絡網あり。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年 4 月に、HP、新聞等で募集し、所定の研修を経て登録。
- ・ 定年制なし。年度ごとに登録を更新。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 新規登録者は養成研修（共通講座 3 回以上、グループ研修 3 回以上）を受講。
- ・ 登録者は、スキルアップ研修を、1 回以上受講。講師は職員が中心。外部講師もあり。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入している。

◇評価

- ・ 活動実績に応じて、入園券を交付。

◇課題と展望

- ・ 冬季の活動、興味や、モチベーションの維持、継続性に課題あり。

◇その他

- ・

活動個別シート ④企画イベント

◇活動開始年

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 13 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 貝殻細工、折り紙、リースづくりなど。

◇活動日

- ・ 不定期 (おもに土日曜日)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 材料、資材等を支給。
- ・ ボランティア室 (実験室と共用) あり。

◇運営 (シフト 等)

- ・ グループ内の連絡網で調整。1 回 2 名以上。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 連絡 (記録) ノートを作成。MLを主とした連絡網あり。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 毎年 4 月に、HP、新聞等で募集し、所定の研修を経て登録。
- ・ 定年制なし。年度ごとに登録を更新。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 新規登録者は養成研修 (共通講座 3 回以上、グループ研修 3 回以上) を受講。
- ・ 登録者は、スキルアップ研修を、1 回以上受講。講師は職員が中心。外部講師もあり。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入している。

◇評価

- ・ 活動実績に応じて、入園券を交付。

◇課題と展望

- ・ 活動の連絡、調整が課題。

◇その他

- ・

活動個別シート ⑤総務

◇活動開始年

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 11 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ HP の管理運営。
- ・ ボランティア全体の統括、調整。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室（実験室と共用）あり。

◇運営（シフト 等）

- ・ グループ内の連絡網で調整。1 回 2 名以上。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 連絡（記録）ノートを作成。ML を主とした連絡網あり。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年 4 月に、HP、新聞等で募集し、所定の研修を経て登録。
- ・ 定年制なし。年度ごとに登録を更新。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 新規登録者は養成研修（共通講座 3 回以上、グループ研修 3 回以上）を受講。
- ・ 登録者は、スキルアップ研修を、1 回以上受講。講師は職員が中心。外部講師もあり。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入している。

◇評価

- ・ 活動実績に応じて、入園券を交付。

◇課題と展望

- ・ 人材の確保（他の活動との兼務者が中心のため、負担が大きい）。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 神戸市立青少年科学館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1984年04月29日

所在地

- ・ 〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町7-7-6

公式サイト

- ・ <http://www.ksm.or.jp>

設立主体

- ・ 神戸市

運営主体

- ・ (財)神戸市体育協会

設立目的

- ・ 次代を担う青少年が、科学技術についての知識を深め、「科学する心」を育む場として開館。

展示概要

- ・ 私たちの運動能力を試す装置、産業用ロボット、人間の感覚を試す装置、大地球儀、月面ジャンプ、細胞・DNAの紹介、有人走行リニアモーターカーなどを展示。

活動概要

- ・ ミュージアムショップにて、来館記念のメダル・パズル・文具、展示物の解説書・過去の特別展紀要を扱う。

延床面積

- ・ 12,336 m²

全職員数

- ・ 40人

年間運営費

- ・ 465,258千円

総資料点数

- ・ 430点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：青少年科学館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 1992年4月、10名程度のボランティアが活動開始（インストラクター制度を開始）。
- ・ 1993年、特別展に加えて一般展示室に配置するようになる。
- ・ 2004年、学生・一般ボランティアを募集。従来のインストラクター制度を統合し、青少年科学館ボランティア発足に歩む。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 45名（2004年）
- ・ 男性：22名、女性：23名（2004年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：展示係 担当人数：常勤1名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①科学教室での指導、②展示の解説、③展示資料のメンテナンス、④展示作業、⑤資料の収集・整理、⑥ミュージアムショップの援助

活動その他

- ・ 直接経費900万円、間接経費40万円を計上（公費でまかなわれている）。
- ・ 各教室（科学工作教室、科学教室、パソコン教室、天体観望会など）の企画、運営費などに要する経費を支出している。
- ・ ボランティア専用の部屋が用意されている。
- ・ 出勤予定の調整は、館の職員が行う。
- ・ 年3回程度、特別展に関する研修を実施（多くが教員のOBなので、研修は不必要であるが、理科の教員とは限らないので研修を実施する）。
- ・ また、展示物の内容や、ボランティアとしての心構えについても研修を行う。
- ・ 1日あたり1,000円に若干の金額を加えたものを会費の実費弁償として支給。
- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ 天体観望会の際に協力している神戸大学の学生を、今後ボランティアとして位置づけ、より盛んな活動にすることが期待される。
- ・ パソコン通信、図書コーナー、ビデオコーナー、科学相談コーナーを設け、適切な科学の情報の提供を目指す「科学情報室」を整備することを計画しているが、その運営をボランティアに委ねたいと考えている。
- ・ ボランティアをより盛んにするには、ボランティアと職員が一体となって館の運営に携わり、自己啓発につとめ、自主的な活動について考えてゆくことが大切である。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

.....

館園名 : 篠山チルドレンズミュージアム

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 2001年7月27日

所在地

・ 〒669-2545 兵庫県篠山市小田中 572

公式サイト

・ <http://sasayama.jp/children/index.html>

設立主体

・ 篠山市

運営主体

・ 篠山市

設立目的

- ・ 子どもたちが、いま生きているこの世界を理解し楽しむことができるよう支援する。地域文化に根ざした新たな事業、文化、人材を生み出す。地域に限らず未来を担う子ども達を育成する。（創造理念から抜粋）

展示概要

- ・ 中核テーマ「心とからだ」体験テーマ「自然と科学」「仕事と職業」「食と農」を設け、地域から世界まで視点を換えた展開で子どもの文化をハンズオン展示している。また、絵本やセルフワークショップキット、自然と科学とアートを調和させたオブジェも展示している。

活動概要

- ・ 篠山の風土を活かし、「水・土・木・米・豆」を切り口としたワークショップによる普及事業を実施している。
- ・ 地域住民やボランティアの参画によるイベント事業を実施している。
- ・ 主に学校の長期休暇期間に、中核テーマや体験テーマに沿った企画展及び特別ワークショップ、イベントを実施している。

延床面積

・ 3056.9 m²

全職員数（常勤職員）

・ 14名（2004年12月現在）

年間運営費

・ 約 68,000,000 円（2003年度）

総資料点数

・ 不明

施設その他

- ・ 当館は、ハンズオン展示やワークショップといった参加体験の手法によって「文化」や「遊び」といった形になりにくい事物の普及事業が中心となっている。また、ハンズオン展示のため破損も多く、「玩具」から「農具」「インテリア」まで地域住民からの提供も多いため、「資料」としての認定や線引きは行っていない。
- ・ ハード面は、合併特例債を適用しリニューアルした旧木造校舎及び新設棟で構成している。

**2. ボランティア活動 名称：支援団体「ミュージアムクラブ」(①～⑫)
学生ボランティア<仮称> (⑬～⑮)**

活動目的・経緯

<ミュージアムクラブ>

- ・ 当館は、旧多紀中学校の統合による跡地利用から計画されており、住民参画と地域活性化を目的のひとつとして持っている。その目的に対する事業として行政が呼びかけ、集まった地域住民により施設支援の団体「ミュージアムクラブ」が作られた。オープン以前からのPR支援のほか、現在は施設管理の支援、自主イベントの開催などを行っている。

<学生ボランティア>

- ・ 市内高校にボランティア活動を行うための部活動(篠山鳳鳴高校インターアクト部)として、また篠山産業高校東雲校の課外活動との連携として受入が続いている。
- ・ 学校の長期休暇に企画展のため一時的な登録を公募で行ったが、制度としては確立していない。

活動人数(総数、男女比、年齢構成)

<全体> 92名(2004年12月現在) 男性：23名、女性：69名

<ミュージアムクラブ>

- ・ 68名(2004年12月現在) 男性：20名、女性：48名
- ・ 年齢は確認していない。退職後男性と主婦層が中心。

<学生ボランティア>

- ・ 24名(2004年12月現在)
- ・ 男性：3名、女性：21名
- ・ 平均年齢 17歳：男性18歳、女性17歳

ボランティア担当職員(2005年1月現在)

- ・ 部局名称： ボランティアコーディネーター
- ・ 担当人数：常勤職員 1名・その他() 名

活動の種類

<ミュージアムクラブ>

- ・ ①自主イベント(ボランティアとあそぼう)の企画運営。
- ・ ②自主イベント(有機農座談会(通称))の企画運営。
- ・ ③自主イベント(餅つき等)の企画運営及びワークショップ(田植え等)の参画。
- ・ ④自主活動(ちるみゅーコーラス隊)の企画運営。
- ・ ⑤ミュージアムショップの運営。
- ・ ⑥広報紙作成。
- ・ ⑦展示の開発・修理。
- ・ ⑧交流会の開催。
- ・ ⑨PR活動の補助。
- ・ ⑩施設管理の補助。
- ・ ⑪施設主催ワークショップの補助。
- ・ ⑫農地管理。

<学生ボランティア>

- ・ ⑬ワークショップ及びイベントの補助。
- ・ ⑭事務作業、施設管理等の補助(学生ボランティア)。
- ・ ⑮企画展のフロア活動(展示解説やインタープリターにあたる活動)。

活動その他

<ミュージアムクラブ>

- ・ 年1回の総会及び月1回の運営会議（役員と活動グループ代表者の会議）を開催し団体としての運営を行っている。
- ・ 来年度から有償ボランティアの制度が廃止になる。
- ・ 支援を目的に設立されており会員の中で奉仕活動の認識は強い。一方、文化ボランティアとしての自主事業と施設事業の補助との線引きがあいまいになっている。
- ・ 待遇については施設から個人への支給は無く、補助金として団体に予算がおりており、団体運営会議において交通費、食費等の取り扱いについて検討している。

<学生ボランティア>

- ・ 現在、人材育成事業の位置づけでボランティア体験活動の実施などを検討している。
- ・ 兵庫県主催のトライやるウィーク（中学生の課外体験プログラム）、就業体験活動、博物館実習、インターンシップの受入は別途行っている。※博物館実習についてはボランティア担当の事務分掌外となっている。

関連する出版物

<ミュージアムクラブ>

- ・ 「ちるみゅーニュース」（不定期）。

関連するHP

<ミュージアムクラブ>

- ・ [http:// www.museumclub.jp](http://www.museumclub.jp)

<学生ボランティア>

- ・ 鳳鳴高校インターアクト部
<http://www.hyogo-c.ed.jp/~homei-hs/c-club/interact/interact.htm>
- ・ 篠山産業高校東雲校
<http://www.hyogo-c.ed.jp/~shinonome-ahs/>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

<ミュージアムクラブ>

- ・ 団体外の地域住民（自治会等）と連携することが多いが、自主イベントにおいて音楽活動、わら細工、川遊び、料理等の特技を持った活動グループや個人をゲストに招くなどしている。

<学生ボランティア>

- ・ 各高校主体で連携している。
- ・ 鳳鳴高校インターアクト部の活動に関しては上記URL参照。

活動個別シート 活動名：①自主イベント（ボランティアとあそぼう）の企画運営

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 9 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 月 1 回のペースでブース型イベントを企画運営している。それぞれ個人又はチームで 4～6 個の体験ブースを企画し、参加者が自由に選択し昔遊びや工作などの体験ができるイベントを行っている。地域住民をゲストにブースを企画することもある。

◇活動日

- ・ 毎月第 2 土曜日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 職員による連絡中継、開場準備、打ち合わせ資料の作成など。
- ・ 予算は材料費実費を施設が負担（その他、母団体ミュージアムクラブに補助金がある）。
- ・ 控室有り。備品は個人持参、クラブでの購入、施設の備品借用など適宜。

◇運営（シフト 等）

- ・ 各ブースにつきグループを作り実施。各回終了後のミーティングで、年間計画の作成と変更等調整を行っている。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ イベント各回終了後のミーティングのほか年 2 回ほど交流会を開いている。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 募集随時。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 支援団体ミュージアムクラブをつくり補助金と個人年会費で、保険等をかけている。
- ・ 交通費、食費なし（運営会議において検討中）。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ メンバーが固定化しており、新規メンバー募集が課題になっている。

◇その他

- ・ 支援団体ミュージアムクラブの活動。

活動個別シート 活動名：②自主イベント（有機農座談会（通称））の企画運営

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002年

◇活動人数

- ・ 2名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・ 年2回ほど近隣の営農者から一般来館者までを対象に「有機農法」や「自然農法」をテーマに座談会を企画運営している。講師による講演ではなく、実践者から話題提供してもらい、農業や食の視点から子どもの未来を考えて夢を語り合うことをコンセプトにしている。また、他の団体会員に協力を呼びかけて、ワークショップの実施なども行っている。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 職員による連絡中継、開場準備、打ち合わせ資料の作成など。
- ・ 予算は材料費実費を施設が負担（その他、母団体ミュージアムクラブに補助金がある）。
- ・ 控室有り。備品は個人持参、クラブでの購入、施設の備品借用など適宜。

◇運営（シフト 等）

- ・ 有志2名が中心になり、ミュージアムクラブ会員が適宜参加。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ ミュージアムクラブ会報。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 募集随時。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 自己研修。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 支援団体ミュージアムクラブをつくり補助金と個人年会費で、保険等をかけている。
- ・ 交通費、食費なし（運営会議において検討中）。

◇評価

- ・ 参加者人数と終了後のミーティングでの自己評価。

◇課題と展望

- ・ 今後、リーダーの後継者育成または中心メンバーの増員が課題となると思われる。

◇その他

- ・ 支援団体ミュージアムクラブの活動。
- ・ イベント名が「通称」となっているのは、開始当初において農法に商標的なものがあり有機農法の名称がみだりに使えないことがわかったため、各回の反省をふまえつつイベント名称は毎回変更されている。

活動個別シート 活動名：③自主イベント（餅つき等）の企画運営

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 約 8 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 施設内の田んぼでとれた米を使い、餅つきのイベントを自主企画で行っている。また、地域農祭事の紹介イベントも行っている。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 職員による連絡中継、開場準備、打ち合わせ資料の作成など。
- ・ 農地管理に対しての委託金。
- ・ 控室有り。備品は個人持参、クラブでの購入、施設の備品借用など適宜。

◇運営（シフト 等）

- ・ 農地管理及びイベントに関する代表と職員がその都度調整している。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 支援団体ミュージアムクラブの会報。
- ・ 打合せ適宜。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 募集随時。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 支援団体ミュージアムクラブをつくり補助金と個人年会費で、保険等をかけている。
- ・ 交通費、食費なし（運営会議において検討中）。

◇評価

- ・ 参加者人数と終了後のミーティングでの自己評価。

◇課題と展望

- ・ メンバーが固定化しており、新規メンバー募集が課題になっている。

◇その他

- ・ 支援団体ミュージアムクラブの活動。

活動個別シート 活動名：④自主活動（ちるみゅーコーラス隊）の企画運営

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 約 10 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 月 2 回程度練習を行い、練習成果の発表会を行っている。
- ・ 発表会のうち年 1 回はゲストを招いてのコンサートを企画運営している。

◇活動日

- ・ 月 2 回程度の練習会。年 1 ～ 2 回発表。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 職員による連絡中継、開場準備、打ち合わせ資料の作成など。
- ・ 予算は材料費実費を施設が負担（その他、母団体ミュージアムクラブに補助金がある）。
- ・ 控室有り。備品は個人持参、クラブでの購入、施設の備品借用など適宜。
- ・ 練習会を閉館後のミュージアムで行っている。

◇運営（シフト 等）

- ・ 活動のグループ代表が連絡調整している。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 練習会での情報交換。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 募集随時。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 月 2 回程度の練習会。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 支援団体ミュージアムクラブをつくり補助金と個人年会費で、保険等をかけている。
- ・ 交通費、食費なし（運営会議において検討中）。

◇評価

- ・ 終了後のミーティングでの自己評価

◇課題と展望

- ・ メンバーが固定化しており、新規メンバー募集が課題になっている。

◇その他

- ・ 会員交流会を企画するグループとメンバーがほぼ重複しており、交流会の中での発表が多い。
- ・ 支援団体ミュージアムクラブの活動。

活動個別シート 活動名：⑤ミュージアムショップの運営

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 約 10 名（2004 年 12 月現在） ※協賛者、不定期の協力者は除く

◇活動内容

- ・ 施設オープン当初にミュージアムショップを請け負っていた事業者が撤退したあと、施設厚生事業（物販サービス）の支援として活動をはじめ、現在の商品内容は主に駄菓子などを中心にショップの運営している。

◇活動日

- ・ 毎週土曜日、日曜日及び祝日。
- ・ 平日に団体利用の希望があった場合は相談による。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 閉店日の使い捨てカメラ、フィルム等の販売、閉店時の郵送物の受け取りを代行している。

◇運営（シフト 等）

- ・ 活動のグループ代表が連絡調整している。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ グループ内での交流会を開催している。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 募集はしていない。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ グループ内で対応している。

◇評価

- ・ 自己評価。

◇課題と展望

- ・ オリジナルグッズの作成販売も行っているが、コスト等の問題により難航することが多い。しかし、ボランティア活動の盛り上がりにつながるものでもあるため、課題であり展望でもあると思われる。

◇その他

- ・ 支援団体ミュージアムクラブの活動。

活動個別シート 活動名：⑥

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 1 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 広報紙「ちるみゅーニュース」の作成

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 予算は印刷費用を施設が負担（その他、母団体ミュージアムクラブに補助金がある）。

◇運営（シフト 等）

- ・ シフト等なし（活動人数が 1 名のため）。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ ホームページを作成し、団体内外の交流を図っている。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 募集随時。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 支援団体ミュージアムクラブをつくり補助金と個人年会費で、保険等をかけている。
- ・ 交通費、食費なし（運営会議において検討中）。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 施設のオープン以前からの活動である。PR 支援の一環として広報紙を作成していたが、グループメンバーの減少により停滞している。新規メンバーの募集が課題となっている。

◇その他

- ・ 支援団体ミュージアムクラブの活動。

活動個別シート 活動名：⑦展示の開発・修理

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 約 5 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ セルフワークショップキット「ひみつボックス」等の開発や、その他展示物の修理を行っている。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 施設が依頼した展示物の修理については材料費を施設予算で対応している。
- ・ 「ひみつボックス」等展示物の自主開発は個人負担、団体予算を適宜使用している。
- ・ 控室、作業室有り。
- ・ 工具等は施設備品が利用できる（自前の工具を使用することも多い）。

◇運営（シフト 等）

- ・ 職員が都度依頼している。
- ・ 展示物の自主開発は個人ごとの活動になっている。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ ミュージアムクラブ会報。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 募集随時。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 支援団体ミュージアムクラブをつくり補助金と個人年会費で、保険等をかけている。
- ・ 交通費、食費なし（運営会議において検討中）。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 個人ごとの活動が多く、思いを共有し各自が自主性を持って参加できる活動づくりが課題と思われる。

◇その他

- ・ 支援団体ミュージアムクラブの活動。

活動個別シート 活動名：⑧交流会の開催

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 約 10 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ クラブ内の交流を図るため、交流会を開いている。毎回約 10 名の世話人が企画運営し、参加者は約 50 人程度となっている。施設職員も出席できる。

◇活動日

- ・ 名誉館長又は副館長（非常勤）の参加できるとき。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・
- ・ 職員による連絡中継、開場準備の補助。
- ・ 予算は母団体ミュージアムクラブ経費。
- ・ 会場を提供している。
- ・ 備品は個人持参、クラブでの購入、施設の備品借用など適宜。

◇運営（シフト 等）

- ・ 有志が中心になり、ミュージアムクラブ会員が適宜参加している。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ ミュージアムクラブ会報。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 募集随時。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 支援団体ミュージアムクラブをつくり補助金と個人年会費で、保険等をかけている。

◇評価

- ・ 自己評価。

◇課題と展望

- ・ 出席者の固定化が停滞感を生んでいる。視点を変えるか、新規参入者の確保が課題と思われる。

◇その他

- ・ 支援団体ミュージアムクラブの活動。

活動個別シート 活動名：⑨PR活動の補助

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 約 3 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 市内のイベントなどにPRブースを出展し、手づくりの遊具で遊べるコーナーを設け施設のパンフレットなどを配布する広報事業の補助を行っている。当日のパンフレット配布、遊具で遊ぶ子どもの補助、開場準備及び撤収が主な補助内容となっている。

◇活動日

- ・ 不定期（市内のイベントの開催による）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ イベント主催者との渉外、事前準備は広報担当職員が行っている。

◇運営（シフト 等）

- ・ 施設広報担当がその都度依頼。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ ミュージアムクラブ会報

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 募集随時。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 支援団体ミュージアムクラブをつくり補助金と個人年会費で、保険等をかけている。
- ・ 交通費なし。食費については現在適宜（運営会議において検討中）。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ メンバー及びブース内容の固定化が課題ではあるが、ボランティアから自主企画のワークショップを検討したいとの声も出ている。

◇その他

- ・ 支援団体ミュージアムクラブの活動。
- ・ 施設のオープン以前に「新しいかたちのミュージアム」として市民の理解を深めるための活動として始まり、現在も施設PRのための活動として残っている。

活動個別シート 活動名：⑩施設管理の補助

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 約 10 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 施設の草引きから材料調達、施設の修繕や修理など施設運営の補助を行っている。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 修繕等については材料費を施設予算で対応している。
- ・ 控室、作業室有り。
- ・ 工具等は施設備品が利用できる（自前の工具を使用することも多い）。

◇運営（シフト 等）

- ・ 各ブースにつきグループを作り実施。各回終了後のミーティングで、年間計画の作成と変更等調整を行っている。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 職員がその都度依頼。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 募集随時。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 外部のボランティア講座などの情報を会報に掲載している。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 支援団体ミュージアムクラブをつくり補助金と個人年会費で、保険等をかけている。
- ・ 交通費、食費については現在適宜（運営会議において検討中）。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 支援団体として会員 68 名いるが、実働者は固定化している。ボランティア活動体験のイベントや交流イベントの実施など、新規メンバーの確保や意識の共有化が課題と思われる。

◇その他

- ・ 支援団体ミュージアムクラブの活動。

活動個別シート 活動名：⑪施設主催ワークショップの補助

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 約 5 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 特に「とんど」といった地域行事や「川遊び」といった昔遊びを題材にするワークショップの場合、企画協力と実施補助をしている。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 控室有り。
- ・ ボランティア活動としての予算備品はなし。

◇運営（シフト 等）

- ・ ミュージアムクラブ会報に呼びかけを掲載し、加えてボランティア担当又はワークショップ担当の職員が適宜連絡している。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ ミュージアムクラブ会報。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 募集随時。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 支援団体ミュージアムクラブをつくり補助金と個人年会費で、保険等をかけている。
- ・ 交通費、食費については現在適宜（運営会議において検討中）。

◇評価

- ・ 活動後の振り返りでの自己評価。

◇課題と展望

- ・ 会報で会員全員に呼びかけるものの、実際には職員に直接声をかけられて参加することが多いため、文化ボランティアとして自主的に参画できるような仕掛け作りが課題と思われる。

◇その他

- ・ 支援団体ミュージアムクラブの活動。

活動個別シート 活動名：⑫農地管理及び田植え等ワークショップへの参画

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 約 10 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 施設内農地（田・畑）の管理を受託している。
- ・ 農作業のみでなく田植えと稲刈りのワークショップ及び収穫祭を共催している。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 職員による連絡中継、開場準備、打ち合わせ資料の作成など。
- ・ 農地管理に対しての委託金。
- ・ 備品は個人持参、クラブでの購入、施設の備品借用など適宜。

◇運営（シフト 等）

- ・ 農地管理及びイベントに関する代表と職員が都度調整している。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 支援団体ミュージアムクラブの会報。
- ・ 打ち合わせ適宜。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 募集随時。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 支援団体ミュージアムクラブをつくり補助金と個人年会費で、保険等をかけている。
- ・ 交通費、食費については現在適宜（運営会議において検討中）。

◇評価

- ・ 参加者人数と終了後のミーティングでの自己評価。

◇課題と展望

- ・ メンバーが固定化しており、新規メンバー募集が課題になっている。
- ・ ボランティア個人によって参加意識や活動の位置づけが違ってきている。補助活動と自主活動の線引き若しくは思いの共有化が課題と思われる。

◇その他

- ・ 支援団体ミュージアムクラブの活動。

活動個別シート 活動名：⑬ワークショップ及びイベントの補助（学生ボランティア）

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 32 名（2004 年 4 月～12 月実績） ※延べ人数

◇活動内容

- ・ 2004 年の実績では、スタンプラリーの受付、田植えや稲刈りワークショップに参加した子どもの補助、里山を利用したイベントでの安全確保、ダンス公演の立ち番、着ぐるみで P R イベント参加を行った。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 控室有り。
- ・ 補助活動が中心になっており、予算備品はなし。

◇運営（シフト 等）

- ・ 各ブースにつきグループを作り実施。各回終了後のミーティングで、年間計画の作成と変更等調整を行っている。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ ボランティアの受入が可能なものの情報を学校側に連絡し、希望者を調整してもらっている。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 各高校で実施している。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 各高校で実施している。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 保険は学校側で加入している。

◇評価

- ・ 活動後の振り返りでの自己評価。

◇課題と展望

- ・ 一般公募など対象者を広げることが課題となっている。
- ・ 学生対象を含む人材育成を視野に入れたボランティア事業について、システムや位置づけについて検討している。

◇その他

- ・ 篠山鳳鳴高校インターアクト部、篠山産業高校東雲校課外活動との連携で実施している。

活動個別シート 活動名：⑭事務作業、施設管理等の補助（学生ボランティア）

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 15 名（2004 年 4 月～12 月実績） ※延べ人数

◇活動内容

- ・ 2004 年の実績では、看板作成補助、農作業、イベント準備、広報物の郵送作業、清掃作業を行った。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 控室有り。
- ・ 補助活動が中心になっており、予算備品はなし。

◇運営（シフト 等）

- ・ イベント等の開催日以外に学校側から希望者の連絡があった場合に、ボランティア担当が調整し、施設運営の補助作業を割り当てている。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ ボランティアの受入が可能なものの情報を学校側に連絡し、希望者を調整してもらっている。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 各高校で実施している。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 各高校で実施している。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 保険は学校側で加入している。

◇評価

- ・ 活動後の振り返りでの自己評価。

◇課題と展望

- ・ 一般公募など対象者を広げることが課題となっている。
- ・ 学生対象を含む人材育成を視野に入れたボランティア事業について、システムや位置づけについて検討している。

◇その他

- ・ 篠山鳳鳴高校インターアクト部、篠山産業高校東雲校課外活動との連携で実施している。

活動個別シート 活動名：⑮企画展のフロア活動（学生ボランティア）

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 17 名（2004 年 4 月～8 月実績） ※延べ人数

◇活動内容

- ・ 企画展でのフロア活動（展示と来館者をつなぐ展示活動やインタープリターにあたる活動。展示の説明よりも子どもの遊びのサポートに重点を置いている）。
- ・ 2004 年度受入を行った企画展では、「木」をテーマに材質や奏法の異なる楽器を展示し、子ども達が自ら奏法を考え、材質などの違いを楽しむためのサポートを行った。

◇活動日

- ・ 2004 年 7 月 27 日～8 月 31 日のうち希望日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 控室有り。
- ・ 補助活動が中心になっており、予算備品はなし。

◇運営（シフト 等）

- ・ 説明会兼事前研修で希望日を聞いて調整。
- ・ 希望者多数となる日については別の活動内容のものを用意し調整した。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 学校を通じた募集及び新聞への掲載依頼で公募を行った。
- ・ 募集時期は企画展開催の 1 ヶ月前。
- ・ 選考は行っていないが、説明会のあと登録のための意思確認をしている。
- ・ 任期は企画展中のみ。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 説明会兼事前研修（職員対応）。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 支給無し。保険はボランティア保険の加入を条件とした（個人負担）。

◇評価

- ・ 活動後の振り返りでの自己評価。

◇課題と展望

- ・ 継続性に課題がある。

◇その他

.....
館園名 : 龍野市立歴史文化資料館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1989年10月30日

所在地

- ・ 〒679-4179 兵庫県龍野市龍野町上霞城 128-3

公式サイト

- ・ <http://www.2memenet.or.jp/tatuno-rekishi>

設立主体

- ・ 龍野市

運営主体

- ・ 龍野市教育委員会

設立目的

- ・ 龍野市内を中心に原始古代より近世にわたる資料を収集・保管・展示し、市民の利用に供し、歴史・文化に関する知識と理解を深めることを目的とする。

展示概要

- ・ 原始古代から近世にわたる歴史に関する資料・絵図・文書・写真・模型等を展示。

活動概要

- ・ 常設展示のほか、年2回、特別展を開催。
- ・ 資料調査・講演会・常設展・特別展図録出版。

延床面積

- ・ 857 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 5名（2005年01月現在）

年間運営費

- ・ 25,607,677円（2003年度） ※正規職員（2名）人件費を除く

総資料点数

- ・ 40,120点（2005年01月現在）

施設その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：昔の道具見学体験会実演ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 市内の小学3年生を対象に、昔の農機具や民具に触れて学ぶ「昔の道具見学体験会」を開催するに当たり、従事する職員が手薄なことから、民具の使い方を子供たちに教えてあげたり、実演をしていただくボランティアを募集。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 8名（2005年01月現在）
- ・ 男性：7名、女性：1名
- ・ 平均年齢66.3歳：男性66.4歳、女性65歳

ボランティア担当職員（2005年01月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 昔の道具見学体験会の実演指導。
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：昔の道具見学体験会の実演指導

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2005 年

◇活動人数

- ・ 8 名（2005 年 01 月現在）

◇活動内容

- ・ 昔の道具見学体験会において、毎朝、資料館前に昔の道具を並べる。
体験会実施時に、道具を実際に使う指導と道具の使い方を、児童に個別に説明。

◇活動日

- ・ 昔の道具見学体験開催日（2005 年 01 月 31 日～02 月 4 日）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

・

◇運営（シフト 等）

- ・ 基本的に全日出席（都合により欠席は可）。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 市広報紙、回覧板、老人会、公民館高齢者教室受講生に呼びかけ。
10 名程度募集。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 事前に打ち合わせ会を 2 回実施。

◇研修（種類、内容、講師 等）

・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 昼食のみ。

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・

.....

館園名 : 丹波柏原市立原歴史民俗資料館

1. 施設の概要

開館年月日 (西暦)

・ 1992 年 05 月 02 日

所在地

・ 〒 669 - 3309 兵庫県丹波市原町柏原 672

公式サイト

・ <http://>

設立主体

・ 丹波市

運営主体

・ 丹波市

設立目的

・ 栢原藩伝来資料を保存収集し、調査研究・展示する。

展示概要

・ 栢原藩陣屋跡と栢原藩に関する資料の収集。
・ 展示室にて、テーマ別に資料を展示。

活動概要

・ 年一回程度の企画展を行う。

延床面積

・ 407.703 m²

全職員数 (常勤職員)

・ 1 名 (2004 年 12 月現在)

年間運営費

・ 5,000,000 円 (2003 年度) ただし人件費は含まない。

総資料点数

・ 約 5,000 点 (2004 年 12 月現在)

施設その他

・ 国史跡、栢原藩陣屋跡と共通観覧。

2. ボランティア活動 名称： 資料館友の会

活動目的・経緯

・郷土の歴史や文化財を学び、会員相互の親睦をはかりながら資料館活動への協力などをおして生涯学習の場とする。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 35 名（ 2004 年 12 月現在）
- ・ 男性： 25 名、女性： 10 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 2004 年 11 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 清掃（柏原藩陣屋跡）。
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート① 活動名：清掃活動

◇活動開始年（西暦）

- ・ 年

◇活動人数

- ・ 35 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 柏原藩陣屋跡の清掃。

◇活動日

- ・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : にしわき経緯度地球科学館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1993年06月01日

所在地

- ・ 〒677-0089 兵庫県西脇市上比延町 334-2

公式サイト

- ・ <http://www.city.nishiwaki.hyogo.jp>

設立主体

- ・ 西脇市

運営主体

- ・ 西脇市教育委員会

設立目的

- ・ 西脇市は、統計 135 度と北緯 35 度の交差する「日本のへそ」（日本のほぼ中心）、この交差点の意識を追求し、ここから地球、宇宙へと夢と希望を育み、科学、自然に対する認識を深めてもらうことを目的とする。

展示概要

- ・ 天文関係(天体望遠鏡、双眼鏡、映像機器、観測用備品)、地学関係標本、デジタルプラネタリウム映像ソフトなど。
- ・ 「エントランスホール」、「映像ホール」、「企画展示室」、「学習室」、「天文台」。

活動概要

- ・ ①天体観測会(昼間、夜間)、②子供科学教室、③天文・自然体験学習講座、④小中学校等出前講座(天体観測会、移動プラネタリウム)。

延床面積

- ・ 1,279 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 6 名 (2004 年 12 月現在)

年間運営費

- ・ 26,000,000 円 (2003 年度) (職員 3 名の人件費は除く)

総資料点数

- ・ 点 (年 月現在)

施設その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：

活動目的・経緯

- ・ 子供科学教室における講師の助手。
- ・ 2～3名1日交代で担当。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 27名（2004年12月現在）
- ・ 男性：5名、女性：22名
- ・ 平均年齢 19.1歳：男性 18.2歳、女性 19.3歳

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：にしわき経緯度地球科学館
- ・ 担当人数：常勤職員 1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・

関連する出版物

- ・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

.....

館園名 : 白鹿記念酒造博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 1982年04月24日

所在地

・ 〒662-0926 兵庫県西宮市鞍掛町8番21号

公式サイト

・ <http://www.hakushika.co.jp/group/culture.php>

設立主体

・ 辰馬本家酒造(株)

運営主体

・ 財団法人

設立目的

・ 日本人の生活文化遺産である酒造りの歴史を後世に正しく伝える。辰馬本家酒造(株)が、創業320年を記念して設立。

展示概要

・ 明治2年築と伝えられる酒蔵を利用した「酒蔵館」と「記念館」の2棟で構成されている。「酒蔵館」…県・市指定の酒造用具、桶樽つくり用具を工程順に展示。「記念館」…西宮市から寄託を受けている笹部さくらコレクションの資料室、酒文化を伝える酒資料室、企画展示室がある。

活動概要

・ 春には、笹部さくらコレクションの特別展、秋には館蔵品の特別展を開催。年6回の展示替えを行っている。

延床面積

・ 4,066.15 m²

全職員数（常勤職員）

・ 4名（2004年12月現在）

年間運営費

・ 円（2003年度）

総資料点数

・ 点（ 年 月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：

活動目的・経緯

- ・兵庫県の「博物館・美術館解説ボランティア養成講座」が開講されたのをきっかけに、自主的、自発の生涯学習活動の場を展開することを目的として、結成。講座修了者を対象に、希望者をつのり、半年間、館独自の講座を行った。（館のテーマ、酒造や桜 etc）その後、何をやりたいたのかをアンケートし、活動。当時は主に、社会見学時の対応ボランティア。その後、古文書を読みたいという希望者のグループで、月1度の「古文書を読む会」が行われている。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 6名（2004年12月現在）
- ・ 男性：5名、女性：1名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳
男性はリタイヤされた方が多い。

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 小学生の社会見学時に、対応。
- ・ 古文書の釈文。
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 館により運営。人数も少なく、館も小さいので、組織だっていない。
- ・ 社会見学のボランティアは、学校から予約が入った時点で、日程を fax で連絡。
- ・ 古文書ボランティアは、一つの古書を人数分コピーし、各自が同じ文書を釈文する。月1度、会を持ち、読み合わせて、それについて、話し合う。

関連する出版物

- ・ 古文書を読む会で釈文した文書を、学会誌などに発表
- ・ 『酒史研究』 ・ 『瓦』 近代の酒蔵所用 etc

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

活動個別シート 活動名：①社会見学

◇活動開始年（西暦）

- ・1998年

◇活動人数

- ・1名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・小学生の社会見学の対応。

◇活動日

- ・社会見学の日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・備品、他。

◇運営（シフト 等）

- ・予約が入った時点で、ボランティアの方に連絡。

◇交流（情報、組織 等）

- ・そのつど。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・特になし。自発的に申し出があれば、面接を行う。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・事前研修（館員による講座）。
酒についてなど館のテーマに沿った内容。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・何かあった場合は、館の保険でまかなえるようにしている。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・1人なので、展開がない。しかし、人数が増えても、館員が少ないため、事前の研修等ができない状況で、どうしようもない。

◇その他

- ・教師から、ボランティア活動をしている方と生徒がふれあえるということで、好評である。

活動個別シート 活動名：②古文書ボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・2000年

◇活動人数

- ・5名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・古文書の（館所蔵）の釈文。

◇活動日

- ・月に一度会合。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・備品、会室提供。

◇運営（シフト 等）

- ・月最後の○曜日、とあらかじめ決めている。

◇交流（情報、組織 等）

- ・会合の日。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・特になし。

ボランティアつながりで紹介された方など。（古文書ネットワーク的なものが存在しているようである）

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・酒造関係の文書なので、その都度、説明をしている。
また、事前に詳しい説明が必要と思われる場合は、講座をもつ。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・館の保険にくみこまれている。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・人数が増えると、文書コピーの部数など、準備が多く、他の仕事とのかねあいが、つかなくなっている。

◇その他

- ・釈文した文書を学会誌等に発表するようにしている。古文書は一人で読むと必ずまちがいが出るので、複数人で読むことは、理想的で良いと思う。

.....

館園名 : 播磨町郷土資料館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 1985 年 11 月 01 日

所在地

・ 〒 675 - 0142 兵庫県加古郡播磨町大中 396 番 1

公式サイト

・ <http://homepage2.nifty.com/h-oonaka/>

設立主体

・ 播磨町

運営主体

・ 播磨町

設立目的

・ 郷土の歴史に関する資料の管理と活用。

展示概要

・ 播磨大中遺跡出土物と、播磨町の文化財を収蔵・展示。

活動概要

- ・ 常設展示のほか、企画展示、特別展示を開催。
- ・ 講座事業として、歴史講座の開催。体験事業として、「まが玉作り」など。
- ・ 播磨町郷土資料館館報の発行。小・中学校と連携し、見学会などを開催。

延床面積

・ 541.25 m²

全職員数（常勤職員）

・ 3 名（ 2004 年 12 月現在）

年間運営費

・ 円（2003 年度）

総資料点数

・ 600 点（ 年 月現在）

施設その他

・ 平成 19 年開館予定の、兵庫県立考古博物館との相乗効果を考えたい。（東隣に開館予定）

2. ボランティア活動 名称：未定

活動目的・経緯

・体験学習の捕縄等で活動していたのを組織化し、自主的に新しい「商品」（子供たちに感動を与えるもの）を開発するまでになりたいとの目的を持っている。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 6 名（ 2004 年 12 月現在）
- ・ 男性： 5 名、女性： 1 名
- ・ 平均年齢 約 60 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称： 館職員
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 体験学習の講師。
- ・ 説明。
- ・ 講座の受付。
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 考古博物館、先行事業としてのボランティア養成と連携。

活動個別シート① 活動名：未定

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 6 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 体験学習補助、運営。
- ・ 説明。

◇活動日

- ・ 随時。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・ 随時。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 随時。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 広報。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 予定している。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 質的向上のあり方が話題にはなるが、実際には難しい。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 姫路市立美術館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1983年04月01日

所在地

- ・ 〒670-0012 兵庫県姫路市本町68-25

公式サイト

- ・ <http://www.city.himeji.hyogo.jp/art/>

設立主体

- ・ 姫路市

運営主体

- ・ 姫路市

設立目的

- ・ 市民の美術文化の高揚を図るため。

展示概要

- ・ 郷土ゆかりの作家の作品、郷土ゆかりのある風景等をモチーフにした作品、および国内外の名品を収集・展示。

活動概要

- ・ 特別企画展、特別陳列、現代郷土作家展、姫路市美術展、講演会、解説会、子ども鑑賞会、美術講座、実技講座、美術鑑賞旅行、コンサート、ボランティア活動、喫茶事業を実施。
- ・ 年報・紀要、館蔵品目録、特別企画展・特別陳列展図録、美術館だより、友の会だよりなどを出版。

延床面積

- ・ 3,623.8㎡

全職員数

- ・ 職員14名（嘱託3名を含む）、友の会職員2名、ほかに委託職員（受付・警備）

年間運営費

- ・ 約290,000千円

総資料点数

- ・ 約2,800点

その他

- ・ 2003年に、20周年を機に改装工事。

2. ボランティア活動 名称：姫路市立美術館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 1983年4月、活動開始。
- ・ 1984年～1990年、①特別企画展ポスターのボランティア会員による掲示（広報活動）。②居住地域別に班分けをし、世話役を設けるなど自主運営と親睦にトライ。
- ・ 1991年～1992年、①友の会新規事業として、「ボランティア活動の充実と拡大」が掲げられる。②研修班企画によるボランティア研修として、見学会を4回催す。③ポスター発送作業を中心に、事務補助活動が活発になる。④事務補助班のうち若手有職者を中心に編集班が誕生し、機関誌「あかねだより」の発行（1991年）が始まる。⑤10年ボランティアを続けた会員14名に感謝状を送る。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 142名（2004年）
- ・ 男性：31名、女性：111名（2004年）
- ・ 平均年齢59.8歳：男性54.8歳、女性61.2歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：総務課・学芸課 担当人数：常勤3名・その他（友の会職員）1名 ※兼務

活動の種類

- ・ ①資料整理班、②事務補助班、③研修班、④編集班、⑤SWG、⑥イベントの会場アシスタント、⑦企画展示室内での監視補助、⑧販売活動。

活動その他

- ・ 監視は、企画展ごと。そのほかは、曜日ごとに、あるいは不定期に活動。
- ・ 運営母体は、姫路市立美術館友の会（任意団体）。
- ・ 館の担当者とボランティア代表者による連絡会議で調整。
- ・ 「あかねだより」（毎月発行）。
- ・ ボランティア連絡会議（1～2ヶ月に1回）。
- ・ 毎年2～3月の1ヶ月間に募集（2005年度は、変更予定）。
- ・ 友の会会員で、18歳以上であること、義務教育修了が条件。
- ・ 年度初めに登録し、1年ごとに更新。定年制なし。
- ・ 館が、年度初め、および企画展ごとに研修を実施。そのほか、活動の中で相互研修。
- ・ 近隣施設、展覧会の見学会を実施。
- ・ 市で一括して総合保険に加入。
- ・ 美術館離れで年々入館者が減っているが、美術館の最大の理解者であるボランティアのロコミによる宣伝効果は大きい。
- ・ スタートが早かった分、組織やボランティア個々の意識改革がしにくい。
- ・ 達成感を実感してもらうために、絶えず新しい活動の開発に取り組んでいる。
- ・ 企画展示室内での監視補助が義務的活動。その他に自発的活動として、5つの班活動がある。
- ・ 年会費4,000円。
- ・ 1992年に、「ボランティアの手引」を作成。

関連する出版物

- ・ 姫路市立美術館ボランティア20年のあゆみ（2004年3月発行）

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①資料整理班

◇活動開始年

- ・ 2003年（ただし、班としての活動以前に、1995年に写真整理に、1997年に資料整理に着手していた）。

◇活動人数

- ・ 22名（2004年）

◇活動内容

- ・ 図書・資料の整理。
- ・ 図書カードの作成、パソコン入力。

◇活動日

- ・ 週2日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 必要な備品は、館が提供。
- ・ ボランティア活動費として、35,000円を計上。

◇運営（シフト 等）

- ・ 週2日のうち、都合の良い日に活動（任意）。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 打合せを兼ねた懇親会を開催。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ ボランティアとして登録した人の中で、希望者が活動する。その他、制限なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 一緒に作業を行う中で研修。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 無報酬。保険は総合保険を適用。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ メンバーの固定化、活動日による参加者のバラツキが課題。
- ・ 次の活動への展開に苦慮している。

◇その他

- ・

活動個別シート ②事務補助班

◇活動開始年

- ・ 1991年

◇活動人数

- ・ 26名(2004年)

◇活動内容

- ・ 広報印刷物の袋づめ、発送。

◇活動日

- ・ 月1回、および展覧会開催に合わせてその都度3日程度活動。

◇補助(予算、備品、ボランティア室等)

- ・ 備品は館が支給。
- ・ 活動費として、35,000円を支給。

◇運営(シフト等)

- ・ 館から活動日を通知し、リーダーが人員を手配。

◇交流(情報、組織等)

- ・ 年1回ほど懇親会。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期等)

- ・ ボランティア登録者の中の希望者が活動。その他、制限なし。

◇研修(種類、内容、講師等)

- ・ 作業内研修。

◇待遇(交通費、食費、保険等)

- ・ 無報酬。保険は総合保険を適用。

◇評価

- ・ 単純な仕事であるが、館は非常に助かっている。

◇課題と展望

- ・ 活動日の連絡が、リーダーの負担となっている。

◇その他

- ・

活動個別シート ③研修班

◇活動開始年

- ・ 1991 年

◇活動人数

- ・ 19 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 研修会や講演会の補助や運営。
- ・ 子どもイベント等の手伝い。

◇活動日

- ・ イベントに合わせて活動。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 館が備品を支給。
- ・ 活動費として 20,000 円を支給。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 活動日・内容を館から通知し、リーダーが人員手配。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ ボランティア登録者の中の希望者が活動。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ イベント直前に説明会を実施。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 無報酬。保険は総合保険を適用。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 班名と実際の活動にズレが生じてきている。
- ・ コミュニケーションがとりにくい。

◇その他

- ・

活動個別シート ④編集班

◇活動開始年

- ・ 1992 年

◇活動人数

- ・ 5 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 機関誌「あかねだより」の発行。

◇活動日

- ・ 月 1 回。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 館が用紙などを支給。
- ・ ボランティアルーム備え付けのパソコンを使用。
- ・ 活動費として、20,000 円を支給。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 月末の土曜もしくは日祝日で、集まりやすい日を活動日とする。

◇交流 (情報、組織 等)

・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ ボランティア登録者の中の希望者が活動。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 無報酬。保険は総合保険を適用。

◇評価

- ・ 毎月の発行で、よく継続している。

◇課題と展望

・

◇その他

・

活動個別シート ⑤SWG

◇活動開始年

- ・ 2003年（ただし、1996年より任意で参加者を募り、活動を開始）

◇活動人数

- ・ 7名（2004年）

◇活動内容

- ・ 博物館実習生との合同学習を発展させ、希望者による彫刻作品の学習とメンテナンス活動を並行して行う。

◇活動日

- ・ 月1回。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 館が備品を支給。
- ・ 活動費として、20,000円を支給。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 彫刻の展覧会などを視察研修している。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ ボランティア登録者の中の希望者が活動。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 機会を捉えて勉強会を実施。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 無報酬。保険は総合保険を適用。

◇評価

- ・ 世代間の話しが弾み、学生からも好評である。

◇課題と展望

- ・ 姫路城の一郭のプロムナード沿いに並ぶ彫刻を洗う構想がある。

◇その他

- ・

活動個別シート ⑥イベントの会場アシスタント

◇活動開始年

- ・ 年

◇活動人数

- ・ 名 (年)

◇活動内容

- ・ イベント(随時)の運営補助。

◇活動日

- ・ 随時活動。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営(シフト 等)

- ・

◇交流(情報、組織 等)

- ・

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ ボランティア登録者に通知し、イベントごとに公募する。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 無報酬。保険は総合保険を適用。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 研修班の活動と重なる部分が多い。

◇その他

- ・

活動個別シート ⑦企画展示室内での監視補助

◇活動開始年

- ・ 1983 年

◇活動人数

- ・ 120 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 企画展の会場監視。

◇活動日

- ・ 企画展開催中、毎日活動。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 昼食はボランティアルームを使用 (休憩も)。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 館担当者が、活動希望日を考慮しつつ、活動日を割り当てる (1 日、4 名ほど)。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 活動日の朝、ミーティングを実施。
- ・ 冬期にボランティアのつどい (懇親会) を開催。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 12 月から 3 月まで、チラシ、HP、マスコミにより募集。
- ・ 友の会会員であることが条件。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 3 月に研修会。
- ・ 各展覧会ごとに研修&解説会 (展覧会担当学芸員が講師) を実施。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 昼食代として、1,000 円を支給。
- ・ 保険は総合保険を適用。

◇評価

- ・ 10 年間活動した人に、記念品と感謝状を友の会から贈呈。

◇課題と展望

- ・ 活動のレベルや意識の差が大きく、対応に困っている。
- ・ 割り当て変更時の振り替えが難しい。
- ・ 研修の運営方法が難しい。
- ・ 当館の必要人数に対して、人数が減少している。

◇その他

- ・

活動個別シート ⑧販売活動

◇活動開始年

- ・ 1983年（1999年からは、専従制からボランティア有志に変更）

◇活動人数

- ・ 名（年）

◇活動内容

- ・ 企画展グッズの販売。

◇活動日

- ・ 土・日・祝日のみ。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

・

◇運営（シフト 等）

- ・ 館担当者が希望者に直接連絡して活動日を決定。

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ ボランティア登録者の中の希望者が活動。

◇研修（種類、内容、講師 等）

・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 昼食代として、1,000円を支給。
- ・ 保険は総合保険を適用。

◇評価

・

◇課題と展望

- ・ 研修の必要性について検討する予定。

◇その他

・

.....

館園名 : 姫路文学館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1991年04月01日

所在地

- ・ 〒670-0021 兵庫県姫路市山野井町 84

公式サイト

- ・ <http://www.city.himeji.hyogo.jp/bungaku/>

設立主体

- ・ 姫路市

運営主体

- ・ 姫路市

設立目的

- ・ 姫路および播磨地方の文化・文芸活動の拠点として、郷土ゆかりの文人の業績に関する資料の整理・保存・調査研究およびその普及・展示などの機能を果たすことを目的として建設。

展示概要

- ・ 郷土ゆかりの文学者の作品、郷土を題材とした文学作品および関連資料約 14 万点。

活動概要

- ・ 特別展示、講演会、講座、夏季大学、播磨文芸祭、ビデオ制作、和辻哲郎文化賞、司馬遼太郎メモリアルデーなどを実施。
- ・ 紀要を発行。

延床面積

- ・ 6852 m² : 北館 3815 m²、南館 2,564 m²、望景亭 444 m²、書齋風木造建物 29 m²

全職員数

- ・ 11 人 (うち館長は非常勤)

年間運営費

- ・ 161,585 千円 (2003 年度)

総資料点数

- ・ 141,821 点 (2003 年度までに登録が完了しているもの)

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：姫路文学館友の会ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 1991年10月より、試験的に個人ボランティアの補助を得ていた。
- ・ 1993年4月、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 93名（2004年）
- ・ 男性：12名、女性：81名（2004年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）
※性格には把握していないが、男性は70歳以上、助成は50～60歳代が多い。

ボランティア担当職員

- ・ 部局：学芸課 担当人数：常勤1名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①行事サポート、②常設展ガイド、③郵便発送作業、④友の会だよりの編集発行。

活動その他

- ・ ボランティア組織により運営。
- ・ 登録人数：93名。
- ・ 不定期に募集。
- ・ 定年制なし。
- ・ 館、およびボランティア相互で研修会・見学会を実施。
- ・ 保険に加入している。

関連する出版物

- ・ リーフレット「姫路文学館友の会 ボランティアのしおり」（2002年度）
- ・ 友の会だよりの「文のしずく」（年2回発行）

関連するHP

- ・

館外組織（NPO等）との連携

- ・

活動個別シート ①行事サポート

◇活動開始年

- ・ 1993 年

◇活動人数

- ・ 93 名 (2004 年) ※全ボランティア

◇活動内容

- ・ 講演会、式典などの受付、来賓接待、会場整理など。

◇活動日

- ・ 年間 7 日程度。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 制服を支給。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 館側の要請により、ボランティア役員が調整。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 昼食支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 高齢化などにより、活動可能な顔ぶれが固定しつつある。

◇その他

- ・

活動個別シート ②常設展ガイド

◇活動開始年

- ・ 1993 年

◇活動人数

- ・ 約 10 名 (2003 年) ※ボランティアのうち有志

◇活動内容

- ・ 常設展示の解説。

◇活動日

- ・ 団体客から事前に要請のある場合に対応 (年間 5~6 回程度)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 制服を支給。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 館側の要請により、ボランティア役員が調整。

◇交流 (情報、組織 等)

・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 全ボランティアを対象に、学芸員が展示内容の講座を開講 (年 10 回、3 年に 1 度のペース)。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 1 回のガイドにつき、2,500 円を支給。

◇評価

・

◇課題と展望

- ・ 展示ガイドができるボランティアを増やして、より積極的に解説サービスを提供できる体制づくりを行いたい。

◇その他

・

活動個別シート ③郵便発送作業

◇活動開始年

- ・ 1993 年

◇活動人数

- ・ 93 名 (2004 年) ※全ボランティア

◇活動内容

- ・ 刊行物、案内などの発送。

◇活動日

- ・ 年間

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・ 5 つの班で輪番。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 500 円分の図書券、特別展チケット 2 枚、コーヒーを支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ④友の会だよりの編集・発行

◇活動開始年

- ・ 2002年

◇活動人数

- ・ 31名(2004年12月現在) ※全ボランティアのうち有志で編集部を組織

◇活動内容

- ・ 紙面の企画・取材、原稿編集、執筆など、編集業務から成果品の発送までの作業。

◇活動日

- ・ 1回の発行につき、3ヶ月間にわたり10回程度。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 会議室を提供。

◇運営(シフト 等)

- ・ 編集部内で、各号ごとに編集長などを輪番している。

◇交流(情報、組織 等)

- ・ 会議ごとに会議録を作成し、全員に配布している。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ ボランティア内で希望者があれば、随時参加可能。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 希望に応じ、職員が文章の書き方や編集の心得につき、随時レクチャーする。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 会議ごとにコーヒーを支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 編集の能率化が課題。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 兵庫県立フラワーセンター

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1976年04月25日

所在地

- ・ 〒679-0187 兵庫県加西市豊倉町飯森 1282 番地の 1

公式サイト

- ・ <http://www.flower-center.pref.hyogo.jp>

設立主体

- ・ 兵庫県

運営主体

- ・ 財団法人兵庫県園芸・公園協会

設立目的

- ・ 県民の花に関する知識の普及及び栽培技術の向上を図るとともに、県民に憩いの広場を提供する。

展示概要

- ・ 自然の松林に囲まれた園内には水鳥の遊ぶ亀の倉池、南国ムードあふれる「大温室」や大小様々な花壇や樹木園で構成されている。「大温室」では、ペゴニア、イワタバコ科植物、食虫植物は国内でも有数のコレクション数を誇っている。

活動概要

- ・ 花を愛する人々の組織、花家族の会の育成。
- ・ 花に関する催し物の実施。
- ・ 花と緑を育てる技術の指導及び相談事業。

面積

- ・ 460,000 m²（※敷地面積）

全職員数（常勤職員）

- ・ 60名（2004年12月現在）

年間運営費

- ・ 316,000,000円（2003年度）

展示株数

- ・ 600,000株（2004年12月現在）

施設その他

- ・ 開園30周年をH18年に迎えるが、施設の老朽化が目立つ。

2. ボランティア活動 名称：兵庫県立フラワーセンター植物園ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 2002年4月、参加者の社会的貢献を達成し、あわせて園の管理運営の充実と利用者サービスの向上を図ることを目的にボランティア制度を立ち上げた。当初の参加者は、友の会会誌や新聞記事にボランティア募集を行って35名でスタートした。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 56名（2004年12月現在）
- ・ 男性：31名、女性：22名
- ・ 平均年齢62歳：男性65歳、女性58歳

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：植物管理課
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 0名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①植物栽培管理
- ・ ②写真撮影
- ・ ③花の栽培相談
- ・ ④代筆

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 年1回ボランティア交流会を開催し、自己紹介および活動内容、意見交換、改善事項について話し合う機会を設けている。

関連する出版物

- ・ なし

関連するHP

- ・ <http://> なし

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ なし。

活動個別シート 個別の活動はなし

◇活動開始年（西暦）

・ 年

◇活動人数

・ 名（ 年 月現在）

◇活動内容

・

◇活動日

・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

・

◇運営（シフト 等）

・

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

・

◇研修（種類、内容、講師 等）

・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

・

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・

.....

館園名 : 兵庫県立歴史博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1983年04月01日

所在地

- ・ 〒670-0012 兵庫県姫路市本町68

公式サイト

- ・ <http://www.hyogo-c.ed.jp/~rekihaku-bo>

設立主体

- ・ 兵庫県

運営主体

- ・ 兵庫県教育委員会

設立目的

- ・ 郷土の歴史に関する県民の理解を深め、教育、学術、および文化の発展に寄与するため。

展示概要

- ・ 「Ⅰ兵庫の歴史」：兵庫の歴史を庶民生活に視点をおいて展示。
- ・ 「Ⅱ城と城下町」：建造物としての城と生活の場としての城下町に視点をおいた展示。
- ・ ビデオライブラリーでは、191番組を22台のブースとビデオシアター（40人程度収容）で自由に見ることができる。

活動概要

- ・ 特別展、企画展を開催。

延床面積

- ・ 7,465.70 m²

全職員数

- ・ 21名

年間運営費

- ・ 約150,000千円

総資料点数

- ・ 215,440点（2003年度末）

その他

- ・ リニューアル計画あり。

2. ボランティア活動 名称：兵庫県立歴史博物館友の会ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 1984年、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 136名（2004年）
- ・ 男性：84名、女性：52名（2004年）
- ・ 平均年齢63歳：男性66歳、女性59歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：普及課ボランティア担当 担当人数：常勤1名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①レファレンス部門、②トライアル部門、③解説部門、④販売部門、⑤発送部門、⑥講座部門、⑦古文書部門。

活動その他

- ・ ボランティアにより運営。
- ・ 年4回、コーディネーターを中心に、計画表を作成。
- ・ 3ヶ月に1回のボランティアの集いで、情報交換。
- ・ コンパニオン等とも連携しながら活動。
- ・ 登録カード（はがき）で、毎年4月に募集・更新。
- ・ 博物館ボランティア入門セミナーを実施（講義・パネルディスカッション・見学などを実施し、基本的な知識や技能の習得を目指す。担当：普及課ボランティア担当）。
- ・ ボランティアコーディネーター養成セミナー（理論コース・実践コース）が開講されている。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①レファレンス部門

◇活動開始年

- ・ 1984年

◇活動人数

- ・ 44名(2004年)

◇活動内容

- ・ 学習相談、書籍の貸し出し・整理、ビデオの貸し出し・返却確認。

◇活動日

- ・ 開館日。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 友の会ボランティア活動費あり。

◇運営(シフト 等)

- ・ 3ヶ月ごとに活動表を作成。

◇交流(情報、組織 等)

- ・ 3ヶ月に1回のボランティアの集いで情報交換。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 毎年4月に募集。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 新規ボランティアに対するオリエンテーションを実施。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 1日活動する場合、昼食を支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ②トライアル部門

◇活動開始年

- ・ 1984年

◇活動人数

- ・ 20名(2004年)

◇活動内容

- ・ 十二単、鎧の着付け、おもちゃの使い方の説明と整理。

◇活動日

- ・ 開館日。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 友の会ボランティア活動費あり。

◇運営(シフト 等)

- ・ 3ヶ月ごとに活動表を作成。

◇交流(情報、組織 等)

- ・ 3ヶ月に1回のボランティアの集いで情報交換。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 毎年4月に募集。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 京都風俗博物館で、十二単の着付け研修。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 1日活動する場合、昼食を支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ③解説部門

◇活動開始年

- ・ 1984年

◇活動人数

- ・ 50名(2004年)

◇活動内容

- ・ 常設展示作品の解説。

◇活動日

- ・ 開館日。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 友の会ボランティア活動費あり。

◇運営(シフト 等)

- ・ 3ヶ月ごとに活動表を作成。

◇交流(情報、組織 等)

- ・ 3ヶ月に1回のボランティアの集いで情報交換。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 毎年4月に募集。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 姫路・西脇古墳発掘現場の見学(講師は学芸員)。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 1日活動する場合、昼食を支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ④販売部門

◇活動開始年

- ・ 1984年

◇活動人数

- ・ 13名（2004年）

◇活動内容

- ・ 特別展図録、常設展示ガイドブック、絵はがき等の販売。

◇活動日

- ・ 特別展期間中の土日祝日の10:00～16:00。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 友の会ボランティア活動費あり。

◇運営（シフト 等）

- ・ 特別展開催期間中の（土・日・休日）の活動表を作成。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 3ヶ月に1回のボランティアの集いで情報交換。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年4月に募集。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 新規ボランティアに対するオリエンテーションを実施。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 1日活動する場合、昼食を支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ⑤発送部門

◇活動開始年

- ・ 1984年

◇活動人数

- ・ 46名(2004年)

◇活動内容

- ・ 友の会だより、館の案内等の発送。

◇活動日

- ・ 年6回程度。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 友の会ボランティア活動費あり。

◇運営(シフト 等)

- ・ 発送が必要な時に、友の会事務局より案内を送る。

◇交流(情報、組織 等)

- ・ 3ヶ月に1回のボランティアの集いで情報交換。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 毎年4月に募集。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 新規ボランティアに対するオリエンテーションを実施。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 1日活動する場合、昼食を支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ⑥講座部門

◇活動開始年

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 25 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 講座・講演会、ワークショップ等開催のための補助。

◇活動日

- ・ 講座・講演会、ワークショップ等が開催される日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 友の会ボランティア活動費あり。

◇運営（シフト 等）

- ・ 講座開催日分の活動表を年間分作成。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 3 ヶ月に 1 回のボランティアの集いで情報交換。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年 4 月に募集。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ NPO 法人人と自然の会を視察。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 1 日活動する場合、昼食を支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ⑦古文書部門

◇活動開始年

- ・ 1984年

◇活動人数

- ・ 32名(2004年)

◇活動内容

- ・ 館所蔵古文書の整理。

◇活動日

- ・ 毎週木曜日。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 友の会ボランティア活動費あり。

◇運営(シフト 等)

- ・ 毎週木曜日の午前と午後に分けて運営。

◇交流(情報、組織 等)

- ・ 3ヶ月に1回のボランティアの集いで情報交換。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 毎年4月に募集。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 山形に研修旅行を行う(商人古文書に関する史料閲覧)。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 1日活動する場合、昼食を支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 福崎町立神崎郡歴史民俗資料館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1982年10月 日

所在地

- ・ 〒679-2204 兵庫県神崎郡福崎町西田原 1038 番地 12

公式サイト

- ・ <http://www.rekimin.town.fukusaki.huogo.jp/>

設立主体

- ・ 福崎町

運営主体

- ・ 福崎町

設立目的

- ・ 神崎郡をはじめ地域の文化資料（出土品・古文書・民俗資料など）を収集・保存して一般に公開し、地域文化の発展に寄与し、又、生涯学習の場として活動することが目的として設置。

展示概要

- ・ 神崎郡の歴史を、福崎を中心に展示。
また、当地方で使われていた生活用具、農具などの民俗資料も展示。

活動概要

- ・ 館蔵資料を中心とした展示活動。（年、企画展 2 回、特別展 1 回）
- ・ 地域の文化資料の収集・保存・活用。
- ・ 連続講座、フォーラム等の開催。ふくさき歴史探検隊の活動。
- ・ 図録の発行など。

延床面積

- ・ 343.42 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 1名（2005年01月現在）

年間運営費

- ・ 約 4,000,000 円（2003 年度）

総資料点数

- ・ 約 1,000 点（2005年01月現在）

施設その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：ふくさき歴史体験隊ボランティア

活動目的・経緯

- ・ ふくさき歴史体験隊の体験学習の場での活動補助等。
- ・ 体験隊員の増加に伴い、ボランティアの方々の参加を呼びかけるようになった。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 15名（2005年01月現在）
- ・ 男性：9名、女性：6名
- ・ 平均年齢40歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（2005年01月現在）

- ・ 部局名称：社会教育課
- ・ 担当人数：常勤職員2名・その他（ ）名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 体験隊活動の補助など。
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 活動前に事前に打ち合わせ等を行なう。
- ・ 近年、学生ボランティア(町内)が多く参加。隊員との年齢も近いため交流の輪が広がる。

関連する出版物

- ・ 特になし。

関連するHP

- ・ <http://www.rekimin.town.fukusaki.hyogo.jp/>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

活動個別シート 活動名：①ふくさき歴史体験隊ボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1996年

◇活動人数

- ・ 約15名（2005年01月現在）

◇活動内容

- ・ ふくさき歴史体験隊の体験学習の場での活動補助等。

◇活動日

- ・ 全8回（2004年7/24（土）、8/21（土）、8/29（日）、9/4（土）、10/2（土）、11/13（土）、12/25（土）、2005年2/12（土）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ふくさき歴史体験の予算にて備品等揃える。

◇運営（シフト 等）

- ・ 特になし（自由参加）。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年、6月、体験隊の募集を行う時に同時に呼びかける。
- ・ HP 広報誌にても案内を行っている。
- ・ 特に制限等はなし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 特になし。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員。行事保険に加入している（費用は館が負担）

◇評価

- ・ 活動最終日に記念品等を贈り表彰を行っている。

◇課題と展望

- ・ この活動のボランティアを基盤に資料館の他の活動についてもこのようなボランティア活動が定着すればより充実できるのではないかと思います。

◇その他

- ・ 近年学生ボランティアが多く参加いただいているが、このようにいろんな年齢層の方々に参加いただき、活動等を広く知っていただければと思います。

.....

館園名 : 北淡町震災記念公園 野島断層保存館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1998 年 04 月 02 日

所在地

- ・ 〒656-1736 兵庫県津名郡北淡町小倉 177

公式サイト

- ・ <http://nojima-dansou.co.jp/>

設立主体

- ・ 北淡町

運営主体

- ・ (株) ほくだん

設立目的

- ・ 野島断層の保存・展示。
- ・

展示概要

- ・ 野島断層を現地保存・隣接する民家も保存・公開。震災体験館では震度 7 の揺れを体験。

活動概要

- ・ 「人と自然の博物館」と共同で企画展もしています。
- ・ 断層を見て揺れを体験して地震や断層の学習と防災意識を高めてもらう。
- ・ 活断層シンポジウムの開催。

延床面積

- ・ m²

全職員数

- ・ 60 人

年間運営費

- ・ 126000 千円 (2003 年度)

総資料点数

- ・ ? 点

その他

展示のリニューアル計画が進行中。

2. ボランティア活動 名称：震災の語りべボランティア

活動目的・経緯

- ・町民講座の受講者の中から震災を風化させないために語り継ごうというメンバーが集まり発足。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 16名（2005年1月現在）
- ・ 男性：11名、女性：5名
- ・ 平均年齢 68歳：男性69歳、女性67歳

ボランティア担当職員（2005年1月現在）

- ・ 部局名称：震災の語りべボランティア事務局
- ・ 担当人数：常勤職員 2名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 体験談を語る。
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 震災10周年を気に新しい語りべが増える予定。

関連する出版物

- ・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

活動個別シート 活動名：

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1999 年

◇活動人数

- ・ 16 名（2005 年 1 月現在）

◇活動内容

- ・ 震災の体験を語る。

◇活動日

- ・ 毎週火曜日と団体の予約がある時。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 予算を 200 万計上。

◇運営（シフト 等）

- ・ 月に 1 回か 2 回、と予約に合わせて来てもらう。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 交流会や忘年会。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 町民講座の参加者からと、体験談を話してくれそうな人に声をかけています。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 講師による地震、断層についての講座。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 1 回あたり 2000～3000 円の謝礼（活動費）を渡しています。

◇評価

- ・ なし。

◇課題と展望

- ・ メンバーの高年齢化。体調を崩す方が増えている。

◇その他

- ・ 新しいメンバーを募集中。

.....
館園名 : 南あわじ市立滝川記念美術館玉青館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 1991年08月01日

所在地

・ 〒656-0314 兵庫県三原郡西淡町松帆西路 1137-1
(2005年1月11日以降は南あわじ市となります)

公式サイト

・ <http://> 現在、担当部局により制作中

設立主体

・ 西淡町（2005.1.11以降は南あわじ市）

運営主体

・ 西淡町（2005.1.11以降は南あわじ市）

設立目的

・ 日本南画界の第一人者、直原玉青画伯の絵画及び秘蔵コレクション等を展示するとともに、文化情報の提供により、芸術文化を推進し、地域社会の生涯学習の活性化を図り、観光並びに文化振興の拠点とすることを目的として設立。

展示概要

- ・ 直原玉青の絵画、書等の美術作品及び関連資料の収蔵。
- ・ 郷土ゆかりの作家の作品展。
- ・ 常設展示は、直原玉青の代表作「禅の牧牛うしかひ草」（合 12 図）。

活動概要

- ・ 直原玉青や、その周辺の作家に焦点をあてた特別展を開催。
- ・ 郷土ゆかりの作家の個展（ジャンルは不問、但し立体は不可）を開催。
- ・ 展示解説（随時）。
- ・ 友の会事業。

延床面積

・ 912.28 m²

全職員数（常勤職員）

・ 3名（2004年12月現在）

年間運営費

・ 11,174,000 円（2003年度）

総資料点数

・ 約 1,600 点（2004年12月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：特になし

活動目的・経緯

・

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 14名（2004年12月現在）
- ・ 男性：4名、女性：10名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 活け花。
- ・ 周辺整備（清掃：植栽手入れ、草刈り等）。
- ・ ピアノ演奏。
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 小規模館なので、職員数も少なく、解説ボランティア等の養成や受入れは、現在行っていませんが、上記のボランティアについては、皆さん無報酬（旅費支給もありません）で、活動して頂いています。活け花については、館から依頼して始まった活動ですが、周辺整備、ピアノ演奏は相手方から（知人を通じてのケースもあります）の申し出で活動して頂いています。

関連する出版物

- ・ なし

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ なし。

活動個別シート 活動名：①活け花、周辺整備、ピアノ

◇活動開始年（西暦）

- ・ 年

◇活動人数

- ・ 14名（ 年 月現在）

◇活動内容

- ・ 活け花ボランティアについては、開館時により、毎週金曜日に4名の方に順番で、お花を活けてもらっています。（花代は館が負担。¥2,000程度（1回））
- ・ 周辺環境整備は、「友の会」会員有志の方々が時期に応じた作業を実施下さいます。
- ・ ピアノボランティアは、奏者の都合の良い費に1時間程度、演奏してもらっています。また、特別展のイベントとしての演奏会でもお願いしています。

◇活動日

- ・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・ 当館では、展示解説、ワークショップ、事務（封筒づめの様な簡単な作業）補助等、直接館の運営にかかわる業務のボランティアは受け入れていません。これらの業務については、現在「友の会」会員の中からパートタイマーとして3名（ローテーション）の方を雇用していますが、将来的には、これらの方々もボランティア活動として参加して頂ければ理想的なスタイルになると考えます。